

## 原水爆禁止国民平和大行進・四国コース スタート!

2022年草の根での「平和」アピールとなる行進が始まりました。今年は徳島県ホストで猪本百合子原水協事務局長が進行します。まず全員で「広島のある国で」を歌います。香川県の岩部乃之筆頭代表は、3年ぶりの行進となったが、核兵器の使用危機が高まる中での行進となった。意気高く歩こうと呼びかけました。徳島県の米澤正博平和委員会事務局長は、TPNW発効の中で、一方において核抑止にしがみつき、ウクライナへの核攻撃発言や、国内では核共有等の軍事対軍事の対応を煽るが、核兵器は無くすしかないと強調。山口逸郎氏は3年前88歳の時8回目のコース制覇と想っていたがやっと実現したと息を吐露。今年行進は①90歳の「お遍路行進」②TPNW発効1年目の節目の行進③ロシアのウクライナ侵攻への怒り、この3点が今年行進の眼目と強調し、DVD『一歩でも二歩でも』の中で畑田重夫先生の「行進は宣伝隊であると同時に組織者」との言葉を引いて、行進を「ピースコール」と呼びかけ。

また香川県平和労組会議青年協議会の久保武士議長は、原水協の平和行進に敬意を表したあと、ウクライナへの侵攻を批判し、国内でも改憲の大合唱で恐怖を煽っていると告発。犠牲は常に市民と若いロシアの兵士と指摘し、平和憲法活かしTPNW批准目指して草の根での活動を、ともに頑張ろうと挨拶。徳島県国交共闘会議の安藤正明事務局長はロシアの暴挙許さず、また日本がこの侵攻を理由に軍拡で国民を危険に晒すことになると強調し、この政府を変えようと呼びかけました。総勢32名

### 本場仕込みの行進アピールに学びました!

行進は、山口氏の「核兵器をなくせ! ノーモアヒロシマ・ナガサキ」との90歳とは思えない声の大きさに、戸惑い気味の行進者がやがて同調し、2時間の行進が整然と終了しました。

### 引田町内にもいた、「長崎の体験者」!

行進終了後、2人1組で、町内で署名行動を行いました。東かがわ原水協の東本政行理事はチャイムを鳴らして対応に現れた方に説明すると、「私もあの時長崎にいた」と言います。お尋ねすると現在96歳、あの時タンカーに乗船し被爆はしていないとのこと、長崎の被爆者が、腰掛に座り、洗面器に足を入れていたが、膿が流れていたと痛ましい体験を話してくれました。3組 10筆 2100円の「ひまわり募金」



四国コース南北スタート集会



山口さんの胸に全盲の方が折り鶴で作った「平和」が吊り下げられています